

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年11月

都道府県名	愛知県		河川名	岩本川			
事例タイトル	地域と行政の協働で取組むふるさとの川づくり						
写真							
水系名/河川名	矢作川水系/岩本川		場所	愛知県豊田市扶桑町、百々町			
位置情報 (緯度経度)	35.107373, 137.195300		活動開始年	2015年			
活動概要 (経緯・目的等)	<p>岩本川では、河川内に土砂が堆積し、草が繁茂しており、川で遊ぶ親子の姿はおろか、川面も見えない状況だった。多くの小川で同じような状況にあるため、浚渫工事の着手に合わせて、豊田市と地元住民との共働による「ふるさとの川づくり事業」を推進するためのモデル事業として岩本川の活動を開始した。2015年度の住民懇談会や川遊び体験会を経て、2016年度には岩本川の日常管理を担う「岩本川創遊会（いわもとがわそうゆうかい）」が地域住民の有志により設立された。岩本川での川づくりが進んだことにより、2017年度からは近くの小学校が課外授業で活用するようになった。</p>						
再生の手法	簡易魚道	○	簡易水制（巨石・ブロック）	○	バープ工（上向き水制）	石倉かご・竹蛇籠	植生ロール・ポット
	魚道改良		たまり・わんど造成		河床攪乱	その他（記述）	草刈り等の日常管理
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者（国）		河川管理者（都道府県）	河川管理者（市町村）	○ 河川管理者以外の地元自治体 ○
	大学・研究機関	○	学校（小中高）		企業	その他（記述）	
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・浚渫という環境変化に合わせて取り組みを始めることで、川への関心や参加意欲を高めるよう工夫した。 ・住民懇談会で、岩本川の「昔」「今」「未来」の姿を共有し、整備イメージを作成した。 ・大規模な工事（浚渫、階段）は行政、小規模な作業は地域住民と、役割分担をしている。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・壊れても良いものをつくっているため、壊れる。 ・浚渫の進行により活動範囲が増加するが人手が追い付かなくなっている。 						
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・川づくりが進んだことにより、小学校の課外授業やボーイスカウト等の活動で岩本川が活用されるようになった。 ・川遊びイベントや小学校での課外授業を実施したあとの休日に、岩本川で遊ぶ親子が見られるようになった。 ・浚渫により単調化しやすい環境の復元に寄与できたと思われる。（多様な物理環境、浚渫前に確認できた生物種の出現） 						
関連URL等	https://www.yahagigawa.jp/						